

東京都商工会報

vol.
290
2009.11

題字は、山下光一 前名誉会長

発行所 東京都商工会連合会

〒190-0012 東京都立川市曙町3-7-10 多摩中小企業振興センター内
TEL 042-525-6821 FAX 042-525-0899 <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/>

発行人：桂 教夫
印刷所：富士電機情報サービス(株)



完成間近の「産業総合支援拠点TAMA」の商工会館棟。白い壁に取り付けられた大きな商工会マークが目飛び込む



武蔵村山市商工会の「まいど～宅配センター」に設置された送迎用(右)と配送用(左)の自転車



昨年に続いてのモリタウン(昭島市)での「東京の島・多摩観光物産展」

CONTENTS

- ・東京都 昭島市東町に一大産業総合支援拠点
「産業総合支援拠点TAMA」来年2月にオープン
- ・都議会各党を訪問
平成22年度都予算・制度等について要望
- ・政党要望懇談会を開く
自由民主党に平成22年度国家予算並びに制度等を要望
- ・多くの方が足を止めていました
10月3、4日開催の「東京の島・多摩観光物産展」
- ・「躍進を目指してわが社の『経営革新計画』」
(株)西東京公住管理
- ・多摩地域商工会エリアの景況
- ・多摩・島しょ地域のイベント 大特集 Part 29

▶「産業総合支援拠点TAMA」……………(本文は2面)
「産業総合支援拠点TAMA」の当連合会が入る会館は10月半ばに撮影しました。外装の工事がすっかり出来上がり、壁の塗装も終わり、床張りを急いでいるところでした。同会館へ当連合会は来年1月23日に移転をします。

▶「東京の島・多摩観光物産展」……………(本文は4面)
今年度の「東京の島・多摩観光物産展」は2年続けて昭島市のモリタウンの飲食店街オープンモールでの開催となりました。同展には東京都農林水産振興財団が初めて参加、苗木を配布するとともに、堆肥の販売も行いました。

▶「まいど～宅配センター」……………(本文は6面)
買い物をする高齢者の荷物の宅配や送迎をする拠点となる武蔵村山市商工会の「まいど～宅配センター」は多くの期待を乗せてスタートしました。開所式でも多くの意見が聞かれ、関心の高さをうかがわせていました。

膨らむ期待

東京都 昭島市東町に一大産業総合支援拠点 「産業総合支援拠点TAMA」来年2月にオープン

「テクノプラザ本館」、「経営サポート館」などを整備、
東京都立産業技術研究センター、東京都中小企業振興公社、
当連合会が集結



「産業総合支援拠点 TAMA」の完成予想図

産業サポートスクエア・TAMA は「テクノプラザ本館」、「繊維サイト」、「EMCサイト」、「経営サポート館」で構成。これに第二次オープンとして二十三年度開設予定の「多摩職業能力開発センター」が加わります。

テクノプラザ本館、繊維サイト、EMCサイト、経営サポート館は建屋を新しく建設、整備しました。テクノプラザ本館、繊維サイト、EMCサイトには東京都立産業技術研究センターが入居、中小企業へ技術支援を行います。支援としては①技術相談②依頼試験③機器の利用④研究開発⑤EMCサイト(電波測定支援)⑥製品開発支援ラボなど設備を充実して提供します。

また、経営サポート館には東京都中小企業振興公社と当連合会が入り、経営を支援していきます。公社は具体的には①経営相談②取引情報の提供③インキュベーターオフィス

23年度には「多摩職業能力開発センター」も開設
当連合会 隣接する「東京都農林総合研究センター」の協力を得て農商工連携を強力に推進

多摩地域の中小企業の方々に、経営基盤と技術力をより強化していただくため、東京都は平成二十二年二月二十二日、昭島市東町の旧都立短期大学の跡地に、中小企業や、働く方々を総合的に支援する、一大産業総合支援拠点「産業総合支援拠点TAMA」(通称II産業サポートスクエア・TAMA)をオープン、誕生させます。拠点には技術支援を行う東京都立産業技術研究センター、経営支援を行う東京都中小企業振興公社、並びに当連合会が集結。また、二十三年度中には人材育成支援に取り組む「多摩職業能力開発センター」も開設します。同拠点に移転する当連合会ではこの移転をキッカケとして隣接する「東京都農林総合研究センター」の協力を得て農商工連携を今後、強力に推進していきます。

の提供④産産・産学連携の促進⑤知的財産の相談を、当連合会は①商工会の指導・監督②経営支援③講習会・研修会の開催などに取り組みます。

24時間利用できる研究・実験スペース(ラボ)を新たに5室設置

拠点への移転で東京都立産業技術研究センターは新製品開発のための支援、産業人材の育成支援、産学交流による課題解決の力をパワーアップします。新製品開発の支援では10m法電波暗室を新設するとともに、設計試作の支援を強化、さらに、二十四時間利用できる研究・実験スペースを新たに5室設置します。

産学公交流で新たに専門のコーナーを配置

産業人材の育成支援、産学公交流による課題解決も強化。産学公交流では新たに専門のコーナーを配置。技術課題解決のための相談やアドバイスを行います。

「計測・分析器」、「半導体・電子デバイス」、「ロボット」の3分野を支援

また、中小企業振興公社は事業拡大のための支援、経営課題の解決や人材育成の支援を強化。事業拡大のための支援では多摩の特徴的産業である「計測・分析器」、「半導体・電子デバイス」、「ロボット」の三分野

を支援、育成し、事業化を推進していきます。経営課題の解決や人材育成の支援強化では経営全般から資金、法律、税務などの各分野の相談に、ワンストップで応じられるよう

にするほか、二十四時間利用できるインキュベーターオフィスを六室設置します。
農工商連携 産学交流に新たにチャレンジ

都議会各党を訪問 平成22年度都予算・制度等について要望

当連合会は九月九日、村越政雄、加藤政治、井上敏夫、鶴田和男の各副会長、長谷川登専務理事、吉澤実事務局長、中村幸夫総務課長が自由民主党、公明党、民主党の都議会各党を訪ね、平成二十二年度都予算・制度等について要望を行いました。要望の内容は商工会等に対する補助金の安定的確保並びに経営改善普及事業の拡充と弾力的運用など全部で九項目で、三万三千商工業者会員の総意として各項目の実現を求めました。

要望ではまず各党の代表者が挨拶

続いて当連合会の加藤政治副会長が挨拶をし、出席の議員らに吉澤実事務局長が要望の内容を説明しました。加藤政治副会長は挨拶で「小規模事業者の発展は東京都の活力を維持していく上で不可欠」とし、その上で「都内二十七商工会の商工会員の総意を以つて是非とも要望を実現していただくようお願い申し上げます」としました。時間が限られていたものの、各党派とも説明後、若干のテーマについて意見も交わしました。

都予算・制度等の要望

1. 商工会等に対する補助金の安定的確保及び経営改善普及事業の拡充弾力的運用について
2. 東京都中小企業向け融資制度「経営緊急」の継続について
3. 三宅村中小企業者への支援について
4. 公営住宅建替え工事等に伴う請負及び空き地の有効利用について
5. 駐車場の確保に関する支援措置の創設について
6. 中央線三鷹～立川間の複々線化の早期実現について
7. 離島航空路・海路の補助制度の創設、就航について
8. 多摩都市モノレールの早期延伸について
9. 横田基地の軍民共同利用について

当連合会は先に設置した「農工商委員会」、「工業・建設業委員会」の活動を軸に農工商連携、産学交流の取り組みを新たに取り上げ、とくに農工商連携では隣接する東京都農林

政要望懇談会を開く 自由民主党に平成22年度国家予算並びに制度等を要望

当連合会は十月九日、立川市内のホテルで政要望懇談会を開きました。懇談会には自由民主党東京都支部連合会の現職と前職の衆議院議員、参議院議員六名が出席、当連合会は平成二十二年度国家予算並びに制度等に対する要望を行いました。都連側からは桂教夫会長をはじめ副会長四名、専務理事、理事八名、監事一名、事務局長、総務課長、地域振興課長の全体で十八名が出席しました。

懇談会ではまず自民党代表と桂会長が挨拶。続いて吉澤実事務局長が小規模事業対策推進における国の関わりと役割の強化についてなど五項目について説明し、二十七商工会、三万三千商工業者の総意として実現をはかるよう要望しました。

挨拶で自民党は「党の経済政策の基本は成長戦略。その中で中小企業

総合研究センターとの連携を強め、産学では首都大学東京、東京農工大などと具体化させていきます。
(写真が1面に)

の立場というのは最も重要な基本」と話し、桂会長は「常に世の中の変化に対応できるように仕事を展開するためにもっともっと情報交換をしたい」と述べました。説明後は意見の交換も行い、当連合会は要望項目を中心にそれぞれの実態を訴え、その是正や上積み求めました。

国家予算・制度等の要望

1. 小規模事業対策推進における国の関わりと役割の強化について
2. 経営セーフティ共済制度の共済金貸付限度額の引上等について
3. 圏央道と東八道路の全線早期開通について
4. まちづくり三法の見直しに関連する大規模小売店舗立地法の新制度導入について
5. 横田基地の軍民共同利用について

地球環境の解決を目指します!! 21年度の多摩経済サミット 11月26日に開催

商工会の会長、会議所の会頭ら多摩地域経済界のトップと東京都の幹部が一堂に会し、経済や地域の課題について解決を目指す、二十一年度の「多摩経済サミット」が十一月二十六日午後二時から立川市内の立川グランドホテルで開催されます。サミットでは地球環境をテーマに環境の専門家が基調講演をし、東京都、商工会会長、商工会議所会頭が環境への対策、取り組みについてそれぞれ発表。これを受けてトップが意見を交わします。基調講演、課題発表は次の通りです。

【課題講演】「地球温暖化防止行動計画について(仮称)」(加藤三郎・NPO法人環境文明21代表理事) 【課題発表】①「東京都における環境対策(仮称)」(横山政彦・東京都環境局環境政策部副参事)②「地域における環境対策の取り組み」(発表者:商工会議所地域会頭、商工会地域会長)

届け!!中小・小規模企業の声

全国から商工会の代表ら3000人が結集 11月19日に第49回商工会全国大会

第49回商工会全国大会が十一月十九日午後一時から東京・神南のNHKホールで鳩山由紀夫首相、谷垣禎一自由民主党総裁、山口那津男公明党代表(以上予定)ら政府、政党関係者らを迎えて開かれます。

全国から商工会の代表ら約三千人が参加。代表が景気対策、中小企業の経営改善に資する支援などをめぐって意見を表明。大会決議を行います。

12月3日に「中小企業危機突破!活力強化大会」

当連合会など都内経済六団体による平成二十一年度の「中小企業危機突破!活力強化大会」が十二月三日、東京商工会議所国際会議場で開かれます。

各団体から五百人が参加。国会並びに都議会の民主党、自由民主党、公明党の代表を来賓に迎え、この中で各団体が景気対策、中小企業金融、商業・まちづくりの活性化等で意見を陳述。大会決議を採択します。

多くの方が足を止めていました

10月3、4日開催の「東京の島・多摩観光物産展」

すっかり秋めく、食欲をそそるサザエの壺焼きの香りが…。当連合会と翼下十四商工会が十月三、四の両日、昭島市内のモリタウン飲食店街オーブンモールで開催した平成二十一年度「東京の島・多摩観光物産展」は珍しさに誘われ、多くの人が足を止めていました。

昨年に続いてモリタウンでの二回目の開催となる今回は、青と白のオシャレなテント、七つを張り、「東京島と多摩の『いいもの』見つけた!」をキャッチフレーズに自慢の物産を展示。また、初参加となる東京都農林水産振興財団が多摩産材グッズを紹介するとともに堆肥の販売などを行いました。

二日間の来場者はおおよそ一万二千人でした。初日の三日は午前九時半からの開会に先立ち簡単なオープニングセレモニーが開かれ、長谷川登・当連合会専務理事が「不況下、我々も頑張るので二日間、是非、頑張っていたきたい」と挨拶しました。

(写真は1面に)

全国商工会経営者 休業補償制度

お問い合わせは
お近くの商工会
または

- 東京海上日動火災保険
- 損害保険ジャパン
- あいおい損害保険

- 就業中／事務外を問わず、病気・ケガによる月々の所得を補償いたします。
- 保険料は一般加入より **36~52%**割安です。
- 最長**1年間**のロング補償です。
- 入院中はもちろん、**自宅療養**による休業や、**天災が原因のケガ**による休業も補償いたします。

盛岡で22000人が参加して女性部全国大会が開催

主張発表大会を中心に多彩な事業

全国商工会女性部連合会、岩手県商工会女性部連合会主催による「第十一回商工会女性部全国大会inいわて」が九月十七、十八の両日、岩手県の岩手県民会館、盛岡グランドホテルで開催されました。大会には全国の女性部連合会から二千二百人が参加、主張発表大会を中心に多彩な事業を繰り広げました。東京都商工会女性部連合会からは四十五人が参加しました。



多くの来賓を迎えて開いた「女性部全国大会in岩手」

大会は松村祥史・参議院議員、数井寛・東北経済産業局長、達増拓也・岩手県知事(代理)宮舘壽喜・副知事(ら)を来賓に迎えて開きました。十七日は大会セレモニー、主張発表大会、基調講演、表彰式等、交流会の五部構成。大会セレモニーでは末武

栄子・全国商工会女性部連合会会長、石澤義文・全国商工会連合会会長らが挨拶。

主張発表大会では「地域の人と共に歩み、共に生きる」をテーマに人と人の繋がりの重要性を主張した九州ブロック代表の豊島代子さんが最優秀賞に輝きました。

会期中は「2009年ふるさと小包グランプリ」も行われました。このグランプリで東京都島嶼地域の「東京の島々のおみやげ」が一次選考を通過しました。

関ブロ前期代表者会議・主張大会1都10県から440人が参加

静岡県下田市等で開催



元気な心援もあった「関ブロ主張大会」

関東ブロック商工会青年部連絡協議会、静岡県商工会連合会、静岡県商工会青年部連合会は九月十七、十八の両日、静岡県下田市、並びに東伊豆町で「平成二十一年度前期代表

者会議・主張大会」を開きました。同大会には一都十県の青年部連合会から四百四十人が参加。主張大会、講演会、交流会、代表者会議と多様な事業を行いました。都青連では飯

島健之会長ら三十七人が参加をしました。

大会では萩原正貴・関東ブロック商工会青年部連絡協議会会長、小倉忠一・静岡県商工会連合会会長、山本雄一・静岡県商工会青年部連合会会長が主催者挨拶。続いて高橋多佳美・関東経済産業局産業部経営支援課長らが来賓挨拶をしました。

大会のメイン事業である主張大会では千葉県代表で「富里印のスイカコスメ」をテーマにした富里市商工会青年部の小川晃司氏が最優秀者に輝きました。

二日目の代表者会議では協議会の二十一年度後半の活動について一都十県の連合会の会長が意見を交わしました。

11月20日から4日間 「ふるさと元気宣言」をテーマに「ニッポン全国物産展」

「ふるさと元気宣言」をテーマに全国商工会連合会は経済産業省中小企業庁との共催により、十一月二十日から二十三日までの四日間、東京・東池袋の東京・池袋サンシャインシティコンベンションホールで「地域力宣言2009ニッポン全国物産展」を開きます。同展は地域資源を活用して開発された特産品、地域の特色を生かした産品、それと全国各地の観光を消費者や流通業者に知ってもらい、売り上げや消費を拡大することにより地域経済の自立化、活性化に結びつける狙いです。参加出展者は約四百社を予定しています。開催時間は四日間とも午前十時から午後六時(最終日は五時)です。入場は無料です。

東京都最低賃金
時間額 **791円**
平成21年10月1日発効
www.roudoukyoku.go.jp

見て、知ってほしい

日野市、瑞穂町の工業力

日野市商工会と瑞穂町商工会が「産業交流展2009」に出展

日野市は市内ものづくり企業の製品・技術と企業紹介サイトを、瑞穂町は地元企業の製品・技術と受注グループをPR

域内からの受注増を目指します。

日野市商工会は平成十九年度から東京都のシナジースキーム事業により「ものづくり支援HINO」の事業に取り組んでいます。「TECHNONET・HINO」はこの一環として立ち上げました。二十年三月から運用を行っています。

産業交流展への出展もシナジースキーム事業の一環として実施します。出展に当たっては日野市の工業の姿、サイトの概要を紹介するビデオを作成、これにより広報をしていきます。日野市商工会では「日野と言えば新選組。それと同じように工業についても認識を深めてもらえれば」としています。

十一月四日から六日までの三日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「第12回中小企業による国内最大級のトレードショー産業交流展2009」に日野市商工会と瑞穂町商工会が出展をします。出展の内容は日野市商工会がものづくり企業約百社の製品や得意の技術を紹介するサイト「TECHNONET・HINO」のPRとともに、高度な技術力を持つ市内ものづくり企業の製品・加工品・技術力の紹介、瑞穂町商工会が実物の展示や、各種パンフレット、パネルによる会員企業の製品・加工品・技術の紹介です。

両商工会とも出展により地域工業の認知度アップ、会員企業の域外



瑞穂町商工会は工業部会が中心となつて出展をします。町内には「曲げ」、「カット」、「型抜き」など大手企業の試作品がつくれる、高度な加工技術を持つ企業が数多く立地。出展ではこれら企業を中心に十社程度が加工品・製品を持ち込むとともに、パネル、パンフレットにより広報をします。また、受注グループをPRします。

武蔵村山市商工会

「まいど～宅配センター
“おかねづかステーション”
を設置
「まいど～宅配」事業を
さらに、発展

瑞穂町商工会も東京都のシナジースキーム事業により工業の振興に取り組んでいます。同事業は「瑞穂町工業振興基本計画」として町内事業者の受発注の拡大、経営基盤の強化、創業支援等の推進を図っているものです。「部分、部分ではなく、会員の協力により製作の流れを受注したい」。瑞穂町商工会では出展により多摩地域で事業所数第四位、同・工業出荷額第七位の工業での実力を知ってもらい、工業振興を加速させていきたいと考えています。

武蔵村山市商工会は九月一日、市内緑が丘の村山団地中央商店街に「まいど～宅配センター」をおかねづかステーションを設置、十月五日、同所で行政や議会関係者らを迎えて開

所式を開きました。ステーションは高齢者や体の不自由な方が商店街に買い物に来られる際の荷物の宅配や送迎をする拠点となるものです。また、ステーションは行政への高齢者の相談、安否の連絡拠点ともなります。さらに、将来的には高齢者等のコミュニケーションスペースとしても利用をします。

同商工会は平成十九年度から登録店が消費者から依頼を受けて商品を届け、その際に地域の見守り、高齢者・独居の方の情報を収集、行政とも連絡を取る「まいど～宅配」事業をスタート、ステーションは、この事業をさらに発展させました。

ステーションには、交通事情や環境に配慮し特別にオーダーをした二台の自転車を揃えました。一台が商品の配送を専用に行う自転車「サイクルカーゴ」、もう一台が高齢者や体の不自由な方を送迎する「送迎サイクル」です。送迎サイクルは、団地内四方所に停留所を決めており、そこを定期運行します。

開所式で松田昭男・武蔵村山市商工会長は「ステーションは市全体のモデルケース。この成功により他の場所でもほしいとなつてもらえれば」と同事業の意義を話しました。

(写真は1面に)

躍進を目指して

わが社の「経営革新計画」

(株)西東京公住管理

古材を有効活用した、現代的住空間を創造するリノベーション事業への取り組み

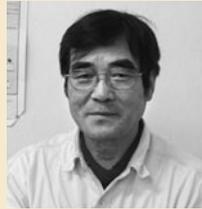
「経営革新計画」については井上社長の「色々、

私はずいぶん井上社長を「凄い」と思いました。そこで、各種必要な資格を取得。それとともに、当社がアイモクのチェーンに加盟、「古材ヴィンテージ東京店」となりました。

用をしているのを実際、目の当たりにしたとき「えー、こういうことができるのだ」と感激しました。そして「これは絶対、事業としてやるべきだ」という強い思いを持ちました。

一方、雑誌で古材、古民家の有効利用に取り組んでいるヴィンテージアイモクを知りました。本社が愛媛県にあり、社長が井上幸一さんといえます。古材の買取・販売、古材を活かした住宅の施工リフォームをやっています。それをフランチャイズチェーン、ポランタリーチェーンで全国展開しているのです。

小さいころに古民家が壊され、燃やされるのを見て頭が隅に再利用ができないかというのが常にありまして、このため再利用



代表取締役 葛田 昌弘氏

FC本部社長の「色々、有利なことがある」という勧めで取得

当社が昭和四十六年から都営団地のリフォームの仕事をしています。同じリフォームでも古材で新たな分野を切り拓こう、と挑んでいるわけです。すでにショールームはある野市内に開設をしています。このショールームでは古材三十五本を用意して「こうなる」というところを見せています。また、青梅市黒沢三丁目第一号の物件を販売中です。これは古材と秋田杉の剥く材を贅沢に使い、中古の戸建てを「自然住宅」にリノベーションしたものです。

将来は古民家そのまま街道沿いに移転、店舗などに活用してもらおうのが夢です。そうなれば百年、二百年経った家がまた、数百年生き続けることになります。



青梅市の古材を使った第1号のリフォーム工事現場。中央のドーンとした大黒柱は古材

「経営革新計画」のご相談・お問い合わせは最寄りの商工会・商工会連合会へ
「経営革新計画」の承認により事業資金や税制などに対する支援を受けることができます。

人事交流

新事務局長



小林 貢 (小金井市)

(10月1日)▽小金井市・事務局長(小金井市・課長)小林貢【退職】(9月30日)小金井市・事務局長 山岸春彦

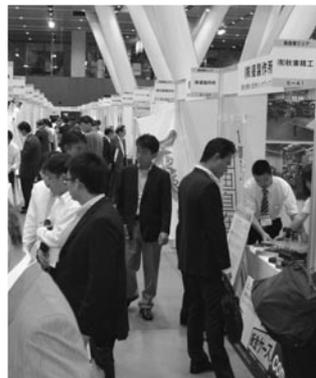
180の企業・支援機関が 出展当連合会は中小企業施策をPR

9月2日に開催した「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展 2009」

当連合会が後援し、出展もした「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展 2009」

戸・TOKYO 技とテクノの融合展 2009」が九月二日、東京・有楽町の東京国際フォーラム展示ホール1で開催されました。同展には当連合会を含めて百八十の中小企業・支援機関が出展。製品、サービス、技術をPRするとともに熱い企業間交流を繰り広げました。会場には七千七百十六名が来場しました。

同展は一昨年、東京信用保証協会



様々な業種から出展のあった「技とテクノの融合展」

が七十周年を迎えるに当たって企業の一助になればと開催。それを機に継続して開いている中小企業による総合ビジネスフェアです。同展で当連合会はブースに各種施策のパフレットを揃え、三名の職員が中小企業施策のPRをしました。

大手16社、中小57社が参加

当連合会後援の「コラボレーション交流会」

当連合会が後援をし、東京都中小企業振興公社が主催をした「コラボレーション交流会」が九月九日、立川市内のパレスホテル立川で開催されました。

優れた技術、優秀な製品を持つ中小企業と大手メーカー、研究機関との共同開発、共同研究を促進、拡大していくと、開催した同交流会にはIHI、オリンパス、川崎重工業、東芝など大手メーカーが十六社、加工、電子/光学、材料、評価技術、ソフトウェアなど中小が五十七社参加をしました。

中小企業景況調査

多摩地域商工会エリアの景況

21年度第2・四半期(7~9月)

目立つ「需要の停滞」、建設業はやや改善

- 製造業
- 建設業
- 小売業
- サービス業

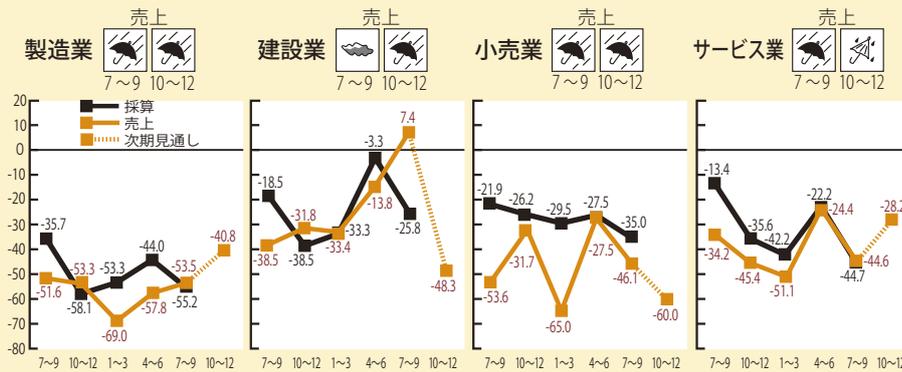
製造業 売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIはそれぞれ横ばい傾向が続く。次期売上見通しは改善を見込む。経営上の問題点の第1位は5期連続「需要の停滞」。

建設業 売上高前期比DIは好転が悪化を上回るが、次期見通しは厳しい。採算期中DI、資金繰りDIは悪化。経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」。

小売業 売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIがすべて悪化。次期売上見通しもさらに苦しい。経営上の問題点の第1位は2期連続「大・中型店との競争激化」。

サービス業 売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIが悪化に転じる。経営上の問題点の第1位は「大企業との競争激化」から「需要の停滞」へ変わる。

■ 売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



調査企業の声

* 良いと思えば転落する状態が続いている。先行きが読めない。
 (金属プレス製品製造業)

* 前期と比べると好転しているように感じたが、8月の仕事は前年の半分以下。
 (床工事業)

* タスポ効果が一巡して前年同期比で売上が大幅減。
 (コンビニエンスストア)

* 今夏の天候の影響を受け、売上が減少している。
 (カラオケボックス業)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。注2. DIマーク ☀️: +30~ ☁️: +10~ +30 ☁️: +10~ -10 ☁️: -10~ -30 ☁️: -30~
 注3. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

大特集 Part 29

多摩・島しょ地域のイベント

12月~10/1月

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先	
12月	1日(火)	師走祭(若郷地区、新島村)	宮造神社	船をかたどった神輿を男衆が担ぐ	宮造神社 04992-5-1208
	5日(土)~6日(日)	第12回 御神火 ツーデーマーチ(大島町)	三原山を中心とした山道コース・海岸道路と牧場コース	1日目30km、20km、6kmコース 2日目20km、12km、6kmコース	(社)大島観光協会 04992-2-2177
	8日(火)	師走祭(本村地区、新島村)	十三社神社	新島の伝統行事・都の無形文化財「獅子木遣り」、夜店や村民による舞台発表もあり	十三社神社 04992-5-1870
1月	1日(金)	初日の出ジョギング(新島村)	新島村内	十三社神社からサーフィンスポットの羽伏海岸までジョギング。初日の出を拜む	新島村教育委員会 04992-5-0240
	5日(火)	平成22年新春のつどい(調布市)	調布市 グリーンホール小ホール	市民の方々と商工業者の皆様が一堂に会し、交流を深める	調布市商工会 042-485-2214 調布市
	12日(火)	青梅だるま市(青梅市)	JR青梅駅前 旧青梅街道	現代に残る数少ない街道路、約300店の露店がざらりと並ぶ	青梅だるま市保存会 (青梅観光案内所) 0428-20-0011
	13日(水)	新春経済講演会(羽村市)	羽村市生涯学習センター	知っておきたい 日本の政治・経済 これからの動き 講師:橋本五郎(読売新聞特別編集委員)	羽村市商工会 042-555-6211
	29日(金)	日野市障害者就業支援セミナー(日野市)	日野市市民会館	障害者・障害者就労企業・障害者支援団体の事例発表	日野市障害者就業支援セミナー実行委員会 042-581-3666 (日野市商工会内事務局)
	30日(土)~3月28日(日)	第55回 伊豆大島 椿まつり(大島町)	元町船客待合所	スーパーアコ娘のダンスパフォーマンス・御神火太鼓 他	(社)大島観光協会 04992-2-2177
椿展	○第1会場:三原山山頂(2/13~21) □第2会場:元町船客待合所(毎日)	○大島のやぶ椿と園芸種のフラワーコンテスト □大島に咲く椿を一堂に集め展示、苗木の即売もします			
椿プラザ	大島公園内(毎日)	アトラクションステージに於いてあんこの手踊り他 御神火太鼓等			
椿の女王コンテスト	大島公園内(2/11)	あんこの伝統衣装を着て「椿の女王」を選出			
椿まつり写真コンクール	元町船客待合所	ミス大島・ミス椿の女王の写真、大島の風景写真、椿まつりの写真等			

念のため主催者に問い合わせをして日にち、会場をご確認の上、お出掛け下さい。